

クラス番号	622	担当教員名	小松 理佐子
テーマ	人口減少社会を支える地域福祉システムを考える		
著書・論文 研究課題等	『生活支援の社会福祉学』(共)有斐閣、2007年 『社会福祉の理論と運営—社会福祉とはなにか』(共)筒井書房、2012年 『対論 社会福祉学(第2巻)社会福祉政策』(共)中央法規出版、2012年		

ゼミナール概要

キーワード：過疎、限界集落、コンパクトシティ構想、地域再生、生活支援システム

目的、内容、方法等：

日本各地で、人口減少が進行しはじめています。「限界集落」と呼ばれる地域などでは、集落の機能の維持が困難になり、住み慣れた自宅で暮らし続けたいと思ってもそれができなくなりつつある地域が見られるようになっていきます。そうした中で都市部では、人口減少を見越して、中心部に都市機能を集約させるコンパクトシティ構想に取り組む自治体が増えています。果たして、私たちの生活にとって望ましい地域は、どのようなもののでしょうか。このゼミでは、生活という視点から、人口減少社会における地域の望ましいかたちを考えます。

「限界集落」と呼ばれる地域の中には、人々が知恵を出し合い、新しい地域づくりをする芽もみられています。こうした地域をみると、人口を集約することが最良の解決策とは言い切れないようにも思います。そこで、ゼミでは、コンパクトシティ構想を進める都市部の政策と、過疎地域で進められている地域再生の政策の両方を比較しながら、このテーマについて考えてみたいと思います。

授業計画：

* 3年次

前期 過疎地域の取り組み、コンパクトシティ構想について、文献・資料をもとに学習します。

後期 夏休みから後期にかけて、コンパクトシティ構想を進めている自治体と、過疎地域の自治体の実地調査を行います。

* 4年次

前期 卒業論文のための研究（個人）

後期 卒業論文の完成と国家試験対策

担当教員からのメッセージ

ゼミのモットーは、「良く遊び、良く学ぶ」「ポジティブな発想」です。

これからの地域を支えるタフな人材を育てたいと思っています。卒業後、出身地に帰って地域を支えたいという熱意のある人を歓迎します。